



令和7(2025)年3月14日

保護者の皆さまへ

千早赤阪村立赤阪小学校

校長 蔦 亜紀朗

学校教育アンケート結果について(ご報告)

桃花の候、平素から本校教育活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、過日保護者・児童対象に実施いたしました学校教育アンケートについて、下記の通りご報告させていただきます。

記

- ① 保護者アンケート(保護者対象)の集計表及び考察
- ② 児童アンケート(5・6年生対象)の集計表、自由記述及び考察
- ③ 「赤阪小学校を改善していくための提案(保護者対象)」については、学校運営全体に関わるご意見を掲載させていただき、いただいたご意見について、今の時点での学校としての対応や課題と思われる点をお知らせし、次年度の教育活動の中で生かしていきたいと考えております。

■□■ 集計表の見方 ■□■

【児童用アンケート】

A:「そう思う」 B:「だいたいそう思う」 C:「あまりそう思わない」 D:「まったく思わない」

【保護者用アンケート】

A:「そう思う」 B:「だいたいそう思う」 C:「あまりそう思わない」 D:「そう思わない」

上記のA,B,C,Dを割合(%)で表すとともに、「A+B」をプラス(肯定的)評価、また「C+D」をマイナス(否定的)評価として表しています。

本校では、今回の学校アンケートの結果を分析、考察し、学校運営、学校教育活動の改善に努めてまいります。また、保護者の皆様からの質問やご意見をいただきながら、子どもたちのためになるように考えていく方向で進めてまいります。今後とも学校に対して何かご質問やご意見がございましたら、いつでもお知らせいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

令和6(2024)年度保護者アンケート集計表		割合(票数÷合計)					プラス評価	マイナス評価
	項 目	A	B	C	D	合計	A+B	C+D
1	子供は、楽しく学校に登校している。	53%	40%	4%	2%	100%	94%	6%
2	学校は、教育目標や教育方針をわかりやすく伝えている。	38%	56%	4%	2%	100%	94%	6%
3	学校は、特色ある教育活動を行っている。	40%	60%	0%	0%	100%	100%	0%
4	学校は保護者・地域の願いに応えている。	21%	67%	8%	4%	100%	88%	13%
5	学校での子供の学習活動・様子について、配布物や学校からの連絡、ホームページ等で知ることができる。	58%	40%	2%	0%	100%	98%	2%
6	学校は学習のつまづきを把握し、一人ひとりの子供に応じた指導や支援をしている。	25%	54%	19%	2%	100%	79%	21%
7	学校は豊かな心を育むための学習や体験活動にとりくんでいる。	36%	62%	0%	2%	100%	98%	2%
8	通知表「のびる子」は、子供の学力や達成度を知るようにできている。	44%	46%	8%	2%	100%	90%	10%
9	学校では環境、国際理解、食育、福祉、プログラミング教育等の様々な教育課題について子供に学ばせている。	42%	50%	8%	0%	100%	92%	8%
10	学校では子供の人権を尊重する教育活動が行われている。	35%	60%	4%	0%	100%	96%	4%
11	学校は、子供に生命を尊重する心や社会のルールを守る態度を育んでいる。	33%	60%	6%	0%	100%	94%	6%
12	学校では防災学習、交通安全、不審者対応などの防災、安全教育について子供に学ばせている。	35%	60%	4%	0%	100%	96%	4%
13	学校では他学年とのたてわり活動(わんぱく班)を行い、友だちを大切に作る仲間作りに取り組んでいる。	63%	35%	2%	0%	100%	98%	2%
14	学校は子供たちの体力向上・運動についての関心を高める取り組みを行っている。	40%	52%	8%	0%	100%	92%	8%
15	運動会、学習発表会、参観、懇談等の行事は参加しやすい。	42%	50%	8%	0%	100%	92%	8%
16	PTAは積極的に活動している。	33%	58%	8%	0%	100%	92%	8%
17	新型コロナウイルス感染症の5類扱い以降、学校は、感染防止や教職員の働き方改革にも配慮しながら、行事を工夫している。	33%	63%	4%	0%	100%	96%	4%
18	学校は、地域に開かれた学校づくりのため、子ども育みボランティア活動の推進など地域連携を進めている。	45%	50%	5%	0%	100%	95%	5%

A: そう思う B: だいたいそう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない

※計算式によりA+B+C+Dの割合が100%にならない場合もあります。

【アンケート結果より】（アンケート回収率は78%でした）

昨年度も書きましたように、対象の保護者の方が年度ごとに入れ替わっていきますので昨年度との単純比較が正確な考察とはいえない部分もございますが、③の「学校は、特色のある教育活動を行っている。」、⑩の「学校では子供の人権を尊重する教育活動が行われている。」、⑭の「体力向上・運動への関心を高める取り組み」については、昨年度よりプラス評価が比較的增加した項目です。昨年度と比べマイナス評価が目立って増加した項目はありませんでした。

「保護者・地域の願い」というのはいろいろなものがあると思いますので、これからいただいたご意見は参考にさせていただきます。子ども一人ひとりに応じた指導・支援につきましては、ここ数年ニーズが高い回答傾向です。次年度の教職員体制で対応できることを考えてまいります。

児童アンケート結果同様、プラス評価が多くてもAの割合が減りBの割合が増えたものもあります。調査対象数が限られているので、経年変化にばらつきが出てあまり細かい分析はすぐわかない面はありますが、その結果も参考にはしております。

令和6(2024)年度 児童アンケート集計表		割合(票数÷合計)					プラス評価	マイナス評価
	項 目	A	B	C	D	合計	A+B	C+D
1	学校へ行くのが楽しい。	61%	30%	4%	4%	100%	91%	9%
2	先生たちは、わたしたちの意見をよく聞いてくれる。	39%	52%	9%	0%	100%	91%	9%
3	学習で自分の考えをまとめたり、発表することがある。	74%	22%	4%	0%	100%	96%	4%
4	先生たちは教え方にいろいろな工夫をしている。	70%	22%	9%	0%	100%	91%	9%
5	学習でわからないことについて、先生に質問しやすい。	48%	43%	4%	4%	100%	91%	9%
6	先生たちは、学習で自分が努力したことを認めてくれる。	61%	39%	0%	0%	100%	100%	0%
7	体育の授業や運動会、かけ足記録会などの行事を通して自分の体力がついてきたと思う。	57%	26%	13%	4%	100%	83%	17%
8	ちがう学年と協力する「わんぱく班活動」は大切だと思う。	70%	26%	4%	0%	100%	96%	4%
9	地震や火災などが起こった時、どうしたらよいかを教えてもらっている。	87%	13%	0%	0%	100%	100%	0%
10	学習で大人になったときの職業(仕事)について考えることがある。	48%	26%	17%	9%	100%	74%	26%
11	学習で協力、奉仕(社会や人のためにつくす)、助け合いについて学ぶことがある。	52%	43%	4%	0%	100%	96%	4%
12	学級会では友達やクラス・学校のことについてよく話し合う。	43%	39%	13%	4%	100%	83%	17%
13	委員会活動はみんなの役に立っていて、やりがいがある。	65%	17%	13%	4%	100%	83%	17%
14	命の大切さや社会のルールについて学ぶことがある。	74%	22%	4%	0%	100%	96%	4%
15	自分を大切に、仲間への思いやりについて学ぶことがある。	70%	22%	9%	0%	100%	91%	9%
16	世界の国々のことや環境問題、いろいろな人たちの生き方について学習することがある。	87%	9%	4%	0%	100%	96%	4%
17	給食の時、栄養教諭や担任などから、栄養や食べ物のことについて教えてもらう機会がある。	91%	9%	0%	0%	100%	100%	0%

※計算式によりA+B+C+Dの割合が100%にならない場合があります。

令和6(2024)年度 学校アンケート 児童自由記述の内容

赤阪小学校の教育や学校生活をより良いものにするために、こうすればいいという意見があったら書いてください。

- 休み時間がもっと長くなってほしい。2人
- 休み時間をもうちょっと減らす。
- 運動会でつな引きをしたい。
- バスケのコートを大きくしてほしい。
- 楽しくする時間もほしい。
- パソコン室で授業する機会が増えてほしい。
- クラブ活動で、募金などでお金を集めて、それを使ってクラブ活動でできることを広げる（ICT・カルチャークラブで）。

【アンケート結果より】

今年度も、全体的にプラス評価となっている傾向です。昨年度よりプラス評価の割合が高かったのは、⑤の「学習でわからないことについて、先生に質問しやすい。」、⑧の「ちがう学年と協力する『わんぱく班活動』は大切だと思う。」でした。異年齢集団、学年合同での活動を今年度は増やしてみました。活動についての充実感や自己有用感があるのではないかと思います。

全項目の中で、⑦の「体育の授業や運動会、かけ足記録会などの行事を通して自分の体力がついてきたと思う。」と⑩の「大人になったときの職業（仕事）について考えることがある」の項目は、昨年度同様、マイナス評価が他よりも多い結果となりました。6年生のキザニア甲子園での学習は今年度も実施しましたが、他にも、ふだんの学習の中でのキャリアパスポートの活用とつなげた取り組みを工夫してみるなど検討したいと思います。

プラス評価が多くても、Aの割合が減り、Bの割合が増えたものもあります。調査人数が限られているので、経年変化にばらつきが出てあまり細かい分析はすぐわかない面はありますが、意識はしておこうと思います。また例年、いくつかの設問でD評価の回答が一定あります。児童一人ひとりの気持ちに寄り添った丁寧な指導をこれからも心がけて参ります。

「自由記述」にあった意見は、個人個人の受け止めが違ふものや、仕組みや趣旨とは合っていないことも含まれているため、学校として取り入れることはないものもありますが、出た意見として記載し、参考にしています。休み時間に関しては、別の観点から次年度の校時（日課）について検討しているところです。運動場のバスケットボールゴールは、トラック（陸上走路）のスペース確保優先で設置しているので、コートは一般的なミニバスコートに比べても狭くなっています。運動会後にゴールを戻して固定するとき、東側のゴールをあと80cmくらいなら離せるかもしれませんね。

令和6(2024)年度 赤阪小学校を改善していくためのご提案について

保護者の皆様よりいただいたご意見についてお答えしたいと思います。ご意見につきましては、ほぼ原文通りの表現にさせていただいております。個人が特定されると思われる内容については、記載を控えて学校側で対応したり、一部変更して掲載したりしております。

また、ご提案にはご記名をお願いしていましたので、記名のあったものを掲載させていただきます。無記名のご提案は拝見しますが掲載はいたしません。ご了承ください。(今年度も無記名のものはありませんでした。ご協力ありがとうございました。)

赤阪小学校長 薦 亜紀朗

校庭開放について

■校庭開放日を増やしてほしい。

※校庭開放の機会増については今年度も複数の方からご意見をいただきました。

→<ご提言、ご提案に対して>

昨年度も同様のご意見があり、今年度は回数を増やしてみました(天候などによる中止もありました)。3月も学期末に設けてみました。次年度は3学期はじめも設定できそうかなと思っております。

異年齢での活動(わんぱく班活動等)について

■わんぱく班での活動は、年齢という枠組みを超えて、子どもたちがお互いに刺激を受けながら成長する姿が見られるので、これからも続けてほしい。

■わんぱく班活動で低年齢の子と交流できることはとても良いと思うので、どんどんやっていただきたいです。

■1~6年で何かをすることは、すごくいい事だと思います。このまま継続してほしいと思います。他の色々な取り組みも凄く良いと思います。Webアンケートも「良い」にしました。これからもよろしくお願いします。

→<各ご提言、ご意見に対して>

児童アンケート、保護者アンケートでもプラス評価が多く、異年齢での取り組みの良さが共有できていると感じます。学校が小規模であるということには課題面もありますが、このように小規模の良さをプラスに生かすことを大事にしていきます。

学校間交流について

■千早小吹台小学校との交流会は、同学年であっても普段なかなか会う事のできない友達と会える機会となり、又中学校で一緒になる前に交流する事でお互いの距離を縮める事もできるきっかけになると思うので、これからも定期的にしてほしい。

→<ご提言、ご意見に対して>

教育効果を感じていただきありがとうございます。村立小芸術鑑賞会、交流バイキング給食、森林環境学習などで千早小吹台小学校の児童と交流する機会を持っています。今年度は、久しぶりに村立中学校の文化発表会を両小学校の6年生が(途中まででしたが)鑑賞させていただく機会を持てたり、両小学校のなかよし学級交流を実施したりすることもできました。げんきこども園との交流も含め、小・小や園・小・中の交流は継続していく予定です。

給食・食育について

■給食の牛乳をアレルギーがなくても飲まないという選択をさせてほしい。

→<ご提言、ご意見に対して>

個別の事情に合わせ、ご相談対応させていただきました。

■食育もとってもすばらしい。きめこまやかな(給食のときにこういった内容で・・・など)説明があるところとか面白いクイズなど興味をそそる授業をしてくださって、子どもが自然に、食べることや体をつくること、広く社会のことに関心がもてるようになってきていると思います。このまま続けていただきたいです。

→<ご提言、ご意見に対して>

栄養教諭が中心になって、給食センター職員・学年担任が協力して計画的に進めておりますが、手ごたえを感じていただけてうれしく思っております。栄養教諭による指導以外にも、今年度はお昼の給食放送で「給食クイズ」も導入しましたが、注目度が高く、聞き手の反応もとてもよい取り組みになっています。

運動会について

■午前中のみ開催は、子どもにとっても保護者にとっても体力的負担が少なくて良いので、これからも継続してほしい。(開催日はもう少し後ろで調整してもらってもいいかなと思う。暑さ対策として。)

■これからも半日がよい(弁当なしがよい)。始まりの時間、終わりの時間を変更して少し長くて弁当なしが希望です。

→<両ご提言、ご意見に対して>

次年度も半日開催の予定です。今年度は前日に降雨で準備ができなかったために、朝に準備をして開会を15分遅らせましたが、今のところ次年度は時間を延ばさず、昨年度の時程での実施を予定しております。

学校環境について

■学校が少し汚いと思います。子どもたちだけの掃除では限界があると思います。余っているPTAのお金を使用してもいいのでは。ほこりはアレルギーの元ですし。

→<ご提言、ご意見に対して>

そうじなしデーや短縮校時・ミニそうじデーの設定をしたこと、職員減があったこともあり、そうじや環境整備について今までのようにする余裕がなかった今年度でした。教職員での年度末のふり返り(リフレクション)で、次年度は今年度よりもそうじ時間の確保をするよう検討しているところです。また、職員作業としてできるそうじも、より計画的におこなえたらと思っています。PTA予算でのご支援については、次年度ご提案いただけることがあれば、ご検討よろしく願いいたします。

家庭訪問・個人懇談会について

■家庭訪問は必要ですか？ 場所の確認なら1年だけでいいのではないか。

→<ご提言、ご意見に対して>

家庭訪問を実施しなくなった学校もあると聞いておりますが、本校としては次年度も4月に家庭訪問を実施する予定でおります。教員の入れ替わりもございますし、校区・ご家庭の様子を把握しながら、早いうちに保護者の方と担任と顔合わせをさせていただく機会がある方が良いと考えております。

■懇談の時間を家庭ごとに変えるようにしてはどうかと思います。時間通り始まらず待たされたりすることがある。長い時間ほしい人の希望を聞いて初めから長く時間を取った方が他の人の迷惑にならない。無理なら決まった時間で終わるようにしてほしい。

→<ご提言、ご意見に対して>

事前に学年、あるいはきょうだい関係があれば学年間、支援学級・通級指導担当の同席があれば、それも含め調整はしておりますが、確かに予定通り進行できない場合がございます。当日ご事情で遅れていらっしゃるケースがあると、急遽前後調整にご協力いただき、お待ちいただく場合もあります。これまでも待ち時間が生じないことを基本線としておりますが、引き続き気を付けてまいります。

かけ足記録会について

■上の子の在籍中から思っていたのは、かけ足記録会の時の音楽がずっと同じで、何十年前の曲

なんだというくらい古い曲なので、走っている子たちも楽しくないだろうな、好きな曲をかけてあげればもっと楽しく走れるんじゃないかと思っていました。でも今年度見に行ったら曲が変わっていてびっくりしました。各学年で走っている時に流したら頑張れるという曲を選ばせてあげると、子どもたちも頑張れると思います。変えてくれてありがとうございます。

→<ご感想、ご意見に対して>

音楽がもっている力というのは、音楽の授業にとどまらず教育活動のさまざまな場面で効果を発揮するものですね。かけ足運動・かけ足記録会でも、気持ちを高めたり、盛り上げたり、区切りをつけたりと、音楽が役立っています。好意的にとらえていただきありがとうございます。

遊び方(ドッジボール)について

■ていねいであたたかなご指導、子どもの話を聞き、感じております。「より良い学校へ」とのことで提案があり、記させていただきたく思います。ドッジボールに関することです。低学年のときですと、他学年(6年生や体格の大きな上級生)の子とドッジボールをすることに不安を感じておりましたが、配慮をしてくださってまいりました。その事に感謝しております。改めて考えまして、やはり、「他人にボールを当ててよろこぶ」というゲームはおかしいと感じます。個人の自由はあるので、休み時間にドッジボールで遊ぶことはあるかもしれませんが、学校の昼休みの取り組みや授業で指導されることは、子どもたちの精神や身体にとって危険な遊びであると思います。令和になりまして、改めて考えていただきたく思います。球を人に当てることを目的とする遊びは、ドッジボールのみです。鉄砲(銃)、矢、物を人に投げて、ましてや当てて喜ぶということは危ないと教えていることですが、小さな子供たちにとってドッジボールと区別がつきにくくなる危険もあると思います。

→<ご提言、ご意見に対して>

ドッジボールという遊び(競技にもなっていますが)、その成立の歴史は割愛しますが、小学生の遊び・交流としては一定定着しているもので、学校としてはわんぱくタイムなどの活動で児童がみんなでする遊びとして選択することについて、変更することは考えておりません。体育の教育課程にはもともとありませんので、体育のボール運動として扱うことはありませんが、担任の判断として特別活動との合科的に、体育の流れでドッジボールをしていることは、時にはあるかと思います。スポーツや遊びの中には、狩猟や争いを連想させるものもありますが、遊ぶメンバーの意識で配慮や思いやりを大事にしたり、互恵的な楽しみ方ができたりする場合もあります。一方、平和的な発想からできているスポーツや遊びもありますが、遊ぶメンバーの意識によっては差別的になったり、力関係が上下関係のように悪影響を及ぼしたりするような遊び方になることもあり得ます。このように、スポーツや遊びを通しての楽しみ方は、その遊びの特性以外の要素もありますので、ボールで人を当てるのが悪影響につながるという面だけでの判断は避けようと思います。本校児童がドッジボール

をしている様子は、ご提言にもあるように、配慮もある中で競技的に楽しめている比較的バランスのよい遊び方であるとみております。ただ、世の中の感覚・受け止め方というのは時代とともに変わっていきますので、今回いただいたようなご意見をお持ちの方が今後増えてくるときがくるかもしれないということは、心に留めております。

PTA組織・活動について

■PTAの仕組みやすることを、しっかり全家庭に説明してほしい。先生方も知ってほしいと思います。実際に6年の親でさえ未だPTAがどんなのかわかっていない人がいて、先生方も把握していないように思います。

→<ご提言、ご意見に対して> 4月に配布している「PTA総会書面審議資料」や「PTA実行委員会だより」での情報提供が主で、それ以外のことは、実際役員や委員になっていただいて初めてお分かりになることもあるかと思います。特にコロナ禍以前の本校PTAの活動は、保護者会員さんの引継ぎ・連携が今よりかなり強固であったように見受けられ、「保護者会員の皆さんの方がよくご存知だ」ということもたくさんありました。コロナ禍を経て毎年のように、PTA活動のあり方を検討され、皆さんで続けていきやすいように改革してきてくださってきているので、引継ぎ内容がどんどん変わっていったことも、把握を難しくさせている要因かもしれません。教職員の方では、あくまでも保護者会員主体であるという基本線を大事にしていることから、直接担当している管理職や首席が主に把握し、他の教職員とは大まかな共有のみしている部分があることは、ご理解いただければと思います。

下校について

■本当は車での迎えはだめということも知っているのですが、皆JAで子どもたちを待っています。うちもそうです。迎え待ちの子たちが信号前からはしゃいで走って行ったり、JA駐車場内でもうろうろ動いているのです（友だちどうして遊ぶ約束をする為に他の子の車のところに行ったり、手もちぶさたでうろうろしたり）。迎えの車は入って来たり出たり、ほかのお客さんの車の出入りもあるし、「なんか危ないなあ」と思います。もちろん注意して出入りしますが、JAさんもどう思っているのか知りませんが、本来の使い方ではないので、私たちもマナーを守って使わせてもらうべきだと思っています。駐車場は遊び場ではないんで、走り回ったりはしゃいだりすると事故につながると注意するのは家庭であるべきだとは思いますが、現状こんな様子ですのでひやひやしています。一度先生から今のままではとても危ないと伝えていただければと思います。いつも信号に立っていただいている方ではそこまで（信号の見守り以外）対応はとても手が回らないのは充分分かります。

→<ご提言、ご意見に対して>

お子さんの下校に合わせてJA赤阪支店をご利用になられ、そこで合流するケースもあると思います。学校としましては、行事の際などにお車で越しの際は、「くすのきホール」の駐車スペースをご利用いただくようお願いしております。JAの駐車スペースに限らず車の出入りがあるところでの、自分自身、そして周りに対する安全意識が大切だということは、交通安全教育全般の中で学校でも指導いたしますし、ご家庭でもご指導いただきたいところです。お迎えに関しましては、例えばお子さんの体調不良といった事情で早退する際に、くすのきホール駐車場までお子さんと歩くわけにはいきませんので、(時間帯にもよりますが)正門前・正門内での駐車が可能かその都度確認し合ったうえで、お越しいただくようにできればと思います。

学校規模について

■競い合う刺激をスポーツでもらえる機会が少なかったり、これから先の学校行事(泊まり系)などもどうなるのかなとすごく不安です。学年によっては男女人数の違いが大きかったりもします。合併してほしいです。もし無理な場合でも行事などは共にしたり考えてほしいです。

→<ご提言、ご意見に対して>

児童数が減少傾向にある小規模校ですので、ご不安もあるかと思います。村立小学校のあり方については、村教育委員会が保護者の方を対象にしたアンケート調査を今年度実施されましたので、こういったお考えも含めいろいろなお声が届いていると思います。行事の進め方や活動の枠組み、学校間交流については、本校で考えていくことができますので、多様な共同・協同の仕方をこれからも考えてまいります。

その他

■(いくつか良い点、ご提案を書いてくださった最後のまとめとして)先生方はお忙しく大変な仕事だと思います。親たちは凄く先生方に感謝しております。この学校、先生方、親たち子どもたちが少しでも楽しく毎日過ごせるために提案させていただきました。宜しくお願い致します。(というメッセージを添えてくださっていました。)

→<ご提言、ご意見に対して>

至らないところもありましたが、教職員みな前向きに一生懸命教育活動、学校運営に取り組んでまいりました。ありがたいメッセージでした。感謝申し上げます。